

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 キッズハウスOkay

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	5	1		活動内容に応じてス ペースを確保している	テーブルなど配置を変えながら対応していく
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	2	1	3	設備等は職員研修をし ている	現在バリアフリー環境が必要な児童がいないが今後の為、改 善していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4	2		毎日のミーティングの中 で改善出来る様に努力 している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	1	2		本部と検討調整していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	2				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	6				ミーティングや会議で子どもと保護者のニーズについて話し合 いを重ねて作成していく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	2			まだ全職員が使用出来ていないが、今後は全職員で使用し ていく
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	6				全職員で行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6				季節ごとの製作や戸外にて季節の変わり方を五感で感じてもら う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	5	1			子どもたちが小集団の中で普段できないような体験を出来る よう提案していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	1		支援終了後では時間内 に終わらせることができ ない為、翌日の午後に 打ち合わせをしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6					
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	6					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		3	2		医療的ケアが必要な児童が現在いないが今後、受け入れを 検討しながら連絡体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	6				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	3	3			移行する子どもが現在いないが今後、受け入れを検討しなが ら体制を整えていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	1	2	インターネットが出来る 環境ノートパソコン数台 用意	コロナ禍ということもあり受けていない。今後は参加可能なリ モート、オンライン研修等も受けていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		1	4		コロナ収束次第、活動の機会を設けていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		1	4		コロナ収束次第、参加を検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	3	1		保護者とのコミュニケーション図り信頼関係を築く。状況にお いては外部の専門家に繋げていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		1	4		コロナ収束次第、提案できる体制を設けていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5	1			発信はしているがまだまだ、未熟な部分はあるかと存じま すが今後の成長に繋げていく
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	1			配慮はしているがまだまだ、未熟な部分はあるかと存じま すが今後の成長に繋げていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			5		地域住民を招待するは、まず事業所行事で何が出来るかを検 討していく

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				保護者へは契約時に説明させていただいてる。マニュアルについて研修を行い理解を深めていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4				身体拘束を行う児童が現在はいないが、受入れ検討しながら体制を整えていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				